

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

発行2014年9月 第75号
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL03-3383-7800

福島子ども保養プロジェクト「2014夏休みコヨット! in東京」に付き添いボランティアとして8名が参加しました。

東京都生協連では、東日本大震災の被災者支援の取り組みとして、原発事故の被災地域の子どもたちと保護者の保養を目的とする企画を、この夏初めて実施しました。

東京都生協連から、CO 災ボへ付き添いボランティアの要請があり8名が参加。大学生ボランティア15名と一緒に、小学4年生から6年生までの男女20名、健康や安全に気を配りながら、心・身体ともに快適に過ごせるよう、活動しました。天候にも恵まれ、予定の行程をケガやトラブルもなく無事に終了しました。今回のCO災ボの活動は、はじめての内容でしたが、参加の子どもたちから「楽しかった!」の声、保護者からは「安心して任せられた。良い企画だった。」の声をたくさんいただきました。学生とCO災ボ共同での活動も有意義でした。

子どもたちに東京で思いっきり遊んで、たくさん楽しい思い出をつくってもらいたい! そんな思いを、事前のボランティアスタッフ説明会で共有して、当日を迎えました。



スタッフ説明会(7月)

開催日: 8月7日~9日
参加した子どもたち: 20名
(小学校4~6年)
スタッフ: 大学生、CO 災ボ、東京都生協連職員ほか



歓迎会・バーベキュー

1 日目は、葛西臨海公園内水族園を見学、広場で外遊びの後は歓迎バーベキュー大会でした。2 日目は東京ディズニーランド、3 日目は新木場の木材・合板博物館で学習と東京の木を使った木工体験。子どもが木に絵を書いてジグソーパズルに挑戦。ボランティアもていねいにアドバイス。



木材・合板博物館(新木場)



朝は子どもとスタッフで体操。朝晩のスタッフミーティングに参加し、子どもの体調チェックや情報交換。



福島子ども保養プロジェクト(コヨット!)は、東日本大震災による原子力発電所事故の被災地域の子どもおよび保護者を対象に、放射線量の低い地域で保養してもらい、参加者相互の交流の場、支援者との交流の場となることで子どもを社会全体で守る具体的な実践として、福島県生協連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学災害復興研究所が協力し、2011年12月から実施しています。プロジェクトの運営費用は全国の生協からの募金で支えています。

コヨットとは・・・子ども保養プロジェクトの子どもの「コ」、保養の「ヨ」、プロジェクトの「ト」をつないだ愛称で、保養に「来よっと!」という呼びかけでもあります。

★★★ボランティアの感想(アンケートより)

- ・はじめてのボランティアで不安もあったが、助け合いながらやり切れた。
- ・学生は「お兄さん、お姉さん」生協ボランティアは「お母さん」に近い役割ができたと思う。
- ・見送る時に、また放射能の心配のある福島に戻ることを考えたら胸が痛くなった。

東京都・杉並区合同総合防災訓練に参加しました

8月30日(土)、平成26年度東京都・杉並区合同総合防災訓練が、和田堀公園などの区内各所で「自助・共助」と「連携」をテーマに行われました。東京都生協連は、災害対策本部の設置訓練、応急生活物資の緊急輸送・供給訓練、災害時の無線通信訓練、医療救護班活動訓練などに参加しています。

CO 災ボからは10名の会員が、社会福祉協議会や他団体とも連携して災害ボランティアセンターの運営訓練に参加して、災害時を想定したテーマのワークショップで地域住民と一緒に学び、交流しました。障がい者の自宅で被害状況を聞き取り、避難誘導する訓練も行われました。福島の障がい者支援センターの代表による要援護者の支援や防災についてのお話は、高齢者の支援にもつながる内容で多くの気づきがありました。参加者からは、さまざまな団体との連携は有意義であり例年の物資仕分け訓練とは違ったことを体験できたよい訓練だったという感想もありました。



▲災害ボランティアセンター受付の訓練
会場：桃井原っぱ公園



▲ワークショップに参加するCO 災ボ会員



▲東京都生協連ブースでは、クイズと展示で生協の取り組みをアピールしました。
会場：松ノ木小学校校庭

約400名が展示を見ながら「生協の防災クイズ」に参加しました！



▲応急生活物資搬送訓練は、生活クラブ・東京とパルシステム東京の協力で行われました。会場：永福体育館

東京都生協連は、現地対策本部設置、物資搬送に関わる通信訓練(MCA無線、衛星携帯)も実施しました。

被災地への訪問交流活動

東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)からの呼びかけにより、東災ボ2014年度被災地訪問交流事業として、2011年3月から2年間にわたり継続した東日本大震災被災者支援活動でできた縁を大切にしながら、仮設住宅でのイベントや横山不動尊を中心とした地域のイベントを通じての訪問交流活動に、東京都生協連とともにCO 災ボ会員も参加しました。

横山不動尊
厄流しそうめんプログラム
開催日：8月1日～3日



横山不動尊ふれあい太鼓
開催日：9月13日～15日



来場者は500名ほどでした。近くの仮設住宅や地域の人のお祭り参加は年々増えているようですが、地盤のかさ上げや、山の中の造成など、高齢化に即した街づくりの問題、地域の問題をまざまざと見ることができました。
(参加した会員の感想より)



ふれあい太鼓ではフランクフルトや焼きそばなどを提供、仮設住宅での食事会でもお好み焼きを提供しました。「赤帽さん、いつもありがとうございます。」と声をかけていただきました。赤帽の存在の大きさと継続支援の大切さを感じた3日間となりました。
(参加した会員の感想)

